



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東  
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR室長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	142,505	△15.6	13,200	△39.8	15,050	△35.0	10,993	△36.4
2019年6月期第3四半期	168,897	△11.2	21,929	△26.4	23,138	△25.6	17,272	△31.7

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 9,547百万円 (5.4%) 2019年6月期第3四半期 9,062百万円 (△76.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	223.06	—
2019年6月期第3四半期	350.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	286,417	161,326	54.0
2019年6月期	282,302	157,588	53.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 154,761百万円 2019年6月期 150,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	—	—	105.00	105.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	181,000	△18.0	12,000	△49.6	14,000	△45.3	10,500	△43.7	213.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	49,355,938株	2019年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	71,818株	2019年6月期	76,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	49,281,901株	2019年6月期3Q	49,277,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
3. 補足情報 .....	12
(1) 販売実績 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	173,638	119,295	△31.3%
売上高	168,897	142,505	△15.6%
営業利益	21,929	13,200	△39.8%
経常利益	23,138	15,050	△35.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	17,272	10,993	△36.4%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦などを抱えつつも堅調に推移してきましたが、新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、先行き不透明感が出てきております。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、半導体メモリメーカーの設備投資は好調だった18年の反動もあり、調整局面にありましたが、データセンター向けサーバー需要などの高まりもあり投資再開の動きがみられます。中長期的には、5Gの本格商用化の世界各国での進展にともない、スマート社会の進展に向けた投資の活発化が期待されます。フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界においては、大型液晶パネル投資の大型商談は一段落しており、スマートフォン用有機ELパネル投資も一時的な調整局面にあります。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,192億95百万円(前年同期比543億43百万円(31.3%)減)、売上高は1,425億5百万円(同263億92百万円(15.6%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は132億円(同87億29百万円(39.8%)減)、経常利益は150億50百万円(同80億88百万円(35.0%)減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億93百万円(同62億79百万円(36.4%)減)となりました。

当社は世界各地で事業を展開しており、新型コロナウイルスの世界規模での拡大に伴う各地への移動制限や都市封鎖により、当社グループの事業に一部影響が出ておりますが、状況に応じて必要な対策を講じることでその影響の最小化に努めております。

セグメントの業績は次のとおりです。

## 「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	148,774	96,094	△35.4%
売上高	144,135	119,662	△17.0%
営業利益	19,552	11,536	△41.0%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

## (FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、大型液晶パネル投資の大型商談が一段落し、スマートフォン用有機ELパネル投資も一時的な調整局面にあることから、受注高が前年同期を大幅に下回り、売上高も下回りました。

## (半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリやDRAM、新型不揮発性メモリ向けスパッタリング装置・自然酸化膜除去装置などのメモリ関連投資が調整局面にありましたが、ロジック向けスパッタリング装置などが寄与し、受注高は前年同期を上回りました。電子部品関連は、通信デバイスやパワーデバイス向け製造装置が堅調に推移しました。

## (コンポーネント)

コンポーネント関連は、受注高、売上高ともに前年同期を下回りましたが、有機EL製造装置に搭載するクライオポンプや真空ポンプ、計測機器などが堅調に推移しました。

## (一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などの受注、売上を計上しましたが、中国での設備投資低迷などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は960億94百万円、受注残高は655億81百万円、売上高は1,196億62百万円となり、115億36百万円の営業利益となりました。

## 「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2019年6月期第3四半期 連結累計期間	2020年6月期第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	24,864	23,201	△6.7%
売上高	24,762	22,843	△7.7%
営業利益	2,411	1,578	△34.6%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

## (材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、装置稼働低下の影響などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

## (その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイが堅調に推移、表面分析機器関連も寄与し、受注高、売上高は前年同期並みとなりました。

その結果、真空応用事業の受注高は232億1百万円、受注残高は66億39百万円、売上高は228億43百万円となり、15億78百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、41億15百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が170億14百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が63億98百万円、たな卸資産が21億30百万円、投資有価証券が16億49百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、3億77百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が186億23百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が78億28百万円、前受金が40億56百万円、短期借入金が23億58百万円それぞれ減少したことなどによります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、37億38百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が58億11百万円増加した一方で、その他の包括利益累計額が19億79百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、仕入債務の減少、前受金の減少などのマイナス要因により、91億85百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入などにより、4億8百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の増加、配当金の支払、短期借入金の減少などにより、98億92百万円の収入となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、186億50百万円増加し、745億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、2020年2月13日に公表しました2020年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日(2020年5月14日)公表しました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,557	75,571
受取手形及び売掛金	77,236	70,837
商品及び製品	3,937	4,521
仕掛品	24,033	21,995
原材料及び貯蔵品	11,803	11,128
その他	6,840	6,086
貸倒引当金	△444	△462
流動資産合計	181,962	189,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,951	28,494
機械装置及び運搬具 (純額)	17,459	16,190
工具、器具及び備品 (純額)	1,981	1,676
土地	8,357	8,335
リース資産 (純額)	715	2,495
建設仮勘定	7,226	8,285
有形固定資産合計	65,687	65,474
無形固定資産		
リース資産	55	58
ソフトウェア	1,030	1,027
その他	2,361	2,046
無形固定資産合計	3,446	3,131
投資その他の資産		
投資有価証券	13,797	12,148
繰延税金資産	10,180	9,195
その他	11,690	9,217
貸倒引当金	△4,462	△2,424
投資その他の資産合計	31,207	28,136
固定資産合計	100,340	96,741
資産合計	282,302	286,417

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,748	32,920
短期借入金	14,915	12,557
リース債務	306	436
未払法人税等	2,802	1,865
前受金	15,849	11,793
賞与引当金	3,625	4,310
役員賞与引当金	485	286
製品保証引当金	1,632	1,735
受注損失引当金	1,099	1,097
その他	13,041	8,150
流動負債合計	94,501	75,149
固定負債		
長期借入金	20,668	39,291
リース債務	551	2,146
繰延税金負債	16	19
退職給付に係る負債	7,846	7,455
役員退職慰労引当金	75	—
役員株式給付引当金	145	148
資産除去債務	399	402
その他	512	481
固定負債合計	30,213	49,942
負債合計	124,714	125,091
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	120,985	126,796
自己株式	△247	△230
株主資本合計	145,522	151,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,652	5,427
為替換算調整勘定	266	△655
退職給付に係る調整累計額	△1,528	△1,362
その他の包括利益累計額合計	5,390	3,411
非支配株主持分	6,676	6,564
純資産合計	157,588	161,326
負債純資産合計	282,302	286,417



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	168,897	142,505
売上原価	118,332	103,111
売上総利益	50,565	39,394
販売費及び一般管理費	28,637	26,194
営業利益	21,929	13,200
営業外収益		
受取利息	133	124
受取配当金	622	542
受取賠償金	21	710
持分法による投資利益	210	337
その他	1,110	1,185
営業外収益合計	2,096	2,898
営業外費用		
支払利息	216	327
その他	670	720
営業外費用合計	886	1,047
経常利益	23,138	15,050
特別利益		
投資有価証券売却益	1,710	3,261
持分変動利益	303	—
特別利益合計	2,013	3,261
特別損失		
減損損失	131	175
特別損失合計	131	175
税金等調整前四半期純利益	25,020	18,136
法人税、住民税及び事業税	5,892	4,589
過年度法人税等	—	583
法人税等調整額	865	1,368
法人税等合計	6,757	6,540
四半期純利益	18,263	11,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	991	603
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,272	10,993

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	18,263	11,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,753	△1,230
為替換算調整勘定	△815	△858
退職給付に係る調整額	119	167
持分法適用会社に対する持分相当額	248	△128
その他の包括利益合計	△9,202	△2,049
四半期包括利益	9,062	9,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,108	9,014
非支配株主に係る四半期包括利益	953	533

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	25,020	18,136
減価償却費	5,158	5,787
減損損失	131	175
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△306	△2,009
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,038	622
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	△143
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△129	△75
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2	3
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△65	100
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	50	△2
受取利息及び受取配当金	△754	△666
支払利息	216	327
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,710	△3,261
持分変動損益 (△は益)	△303	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,568	5,734
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,593	847
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,645	△6,586
前受金の増減額 (△は減少)	3,032	△3,964
未払消費税等の増減額 (△は減少)	415	△721
その他	1,206	569
小計	16,165	14,875
利息及び配当金の受取額	1,007	723
利息の支払額	△206	△345
法人税等の支払額	△7,734	△6,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,232	9,185
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,519	△1,533
定期預金の払戻による収入	5,177	3,162
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,706	△6,659
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	1,175
投資有価証券の売却による収入	1,779	3,371
その他	△180	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,429	△408
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,908	△3,402
長期借入れによる収入	13,900	25,700
長期借入金の返済による支出	△5,982	△6,006
配当金の支払額	△4,681	△5,173
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△829	△1,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△500	9,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,250	18,650
現金及び現金同等物の期首残高	54,348	55,859
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△600	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,998	74,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国の連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用(以下、本適用)により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識するとともに、使用权資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。本適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、リース債務は適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定し、使用权資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

この変更に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「リース資産」が2,125百万円、流動負債及び固定負債の「リース債務」が2,061百万円それぞれ増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	144,135	24,762	168,897	—	168,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,594	1,311	3,906	△3,906	—
計	146,730	26,073	172,803	△3,906	168,897
セグメント利益	19,552	2,411	21,963	△34	21,929

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	119,662	22,843	142,505	—	142,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,592	950	3,542	△3,542	—
計	122,254	23,793	146,047	△3,542	142,505
セグメント利益	11,536	1,578	13,114	86	13,200

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	119,662	83.0
真空応用事業	22,843	92.3
合計	142,505	84.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	50,269	42.0
半導体及び電子部品製造装置	33,421	28.0
コンポーネント	21,456	17.9
一般産業用装置	14,516	12.1
計	119,662	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	9,898	43.3
その他	12,945	56.7
計	22,843	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。